

名寄市立大学教員 推薦図書コーナー ~旅立つ貴方へ贈る一冊~

今号で今年度の図書館だよりも最終号となりました。当館は、本学教職員及び学生の研究・学修のための専門図書館としてだけでなく、名寄市内外を問わず一般の方にもご利用いただける「気軽に本に出合える場所」、地域に開かれた大学図書館としても門戸を開いております。図書館のイベントや活動内容のお知らせ・報告の他、本学教員の推薦図書コーナー、本学に縁のある方からのご寄稿等、学内外の皆様のご協力をいただきながら図書館の情報を発信してきましたが、いかがでしたでしょうか。

卒業・就職・進学・進級・入学……4 月から新たな一歩を踏出される皆様が、これからも学びの支えや、知識・教養を深める友として、本を活用して下さることを願っています。私達図書館職員も、皆様のご利用の助けになれるよう努めてまいりますので、来館の際はどうぞお気軽にお声がけください。

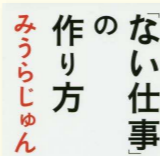
今回は、「旅立つ貴方へ贈る一冊」をテーマに、本学教員の皆様よりお薦めしたい本をご紹介します。明日へと歩む皆様へ、人生の先輩達からのヒントや激励が込められています。

卒業生の皆様は勿論、進級・新入生の皆様もこの機会に是非ご一読ください。

栄養学科 助教 泉 史郎 先生より

『「ない仕事」のつくりかた』 みうらじゅん著、文藝春秋【今後当館に所蔵予定です】

名寄の「なよろう」はもちろん、地方自治体が自前で作成した「ゆるキャラ」という名称は、今では市民権を得て定着しています。しかし、20 年ほど前はそのカテゴリーが定まっておらず、「物産展で見かけるミッキーマウスなどとは違う不思議な着ぐるみのマスコットキャラクター」という長い説明が必要なものでした。それを一言で表すために考えたのが「ゆるキャラ」のはじまりだったということです。氏は奮起して「ゆるキャラ」を推すためのイベントを企画し、あちこちに電話をかけて営業しますが、「うちのはゆるくない!」と怒られたり、怪訝に思われたりしながらも、元々なかったものを「仕事」にしてしまった数々のエピソードは、「そんな馬鹿な」と笑わずにはいられません。しかし、自分と違う意見を排除しがちな現代社会だからこそ、何気ない日常の中に潜む面白いことに着目し、「なんだか面白そう」「そこがいいんじゃない!」と受け入れる心持ちでいることが必要とも思います。これから社会に出る皆さんに是非読んでほしい一冊です。



看護学科 教授 高橋 智美 先生より

『「アルプスの少女ハイジ」に学べ! 元気を取り戻す 11 の方法とは?』

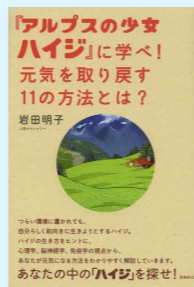
岩田明子著、飛鳥新社

【当館所蔵有: 498.39/1】

卒後の新生活では幾多の壁に当たり、くじけそうになることがあるかもしれません。皆さんもよくご存知のハイジはアルプスで元気に育ちました。しかし、ある日都会に連れていかれて抑うつ状態になり、アルプスに戻って再び元気を取り戻します。

本書では、力強い生命力、無限に広がる可能性、自分がしたいことを実現していく力が人間には本来備わっているのだという単純な事実をハイジが教えてくれます。「ハイジの元気で生き生きとした行動が自分の周りの人々を生かし、自分も生かされ、温かなつながりを作る」ことも理解できます。

ハイジの元気の秘密を解き明かし、知らず知らずのうちに失ってしまった元気を取り戻すヒントを見つけてください。



社会福祉学科 助教 嘉村 藍 先生より

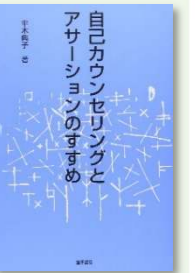
『自己カウンセリングとアサーションのすすめ』 平木典子著、金子書房

【当館所蔵有: 146.8/H】

皆さん卒業おめでとうございます。

私が学生の皆さんと接していて、辛そうだなと思うことは「自分の思いや考えをうまく表現できない」という点です。社会人になるといろいろな場面で自分の考えや思い、場合によっては気持ちを伝える場面が出てきますが、相手の反応や影響を過剰に考えてうまく言葉にできなかったり、表現できずに苦しむことがあります。そうすると、病気になってしまう場合もありますよね?

そうなる前に、「自分を素直に表現し無理なく前向きに生きる」ヒントをこの本でつかんでくれたらうれしいです。



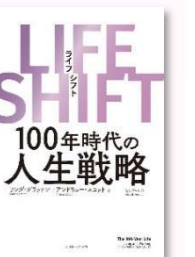
社会保育学科 講師 菊池 稔 先生より

『Life shift (ライフ・シフト) 100 年時代の人生戦略』

リンダ・グラットン、アンドリュー・スコット著、池村千秋訳、東洋経済新報社【当館所蔵有: 159/G】

卒業生のみなさんご卒業おめでとうございます。4 月から新社会人として活躍されるみなさんに 1 冊の本をご紹介します。ご紹介するのは『LIFE SHIFT(ライフ・シフト) - 100 年時代の人生戦略』という本です。この本は、人生 100 年時代を生き抜くために必要な力や知識についてまとめられています。ライフ・シフトはそれ以外にも人生 100 年時代を働く上で必要となる働き方や家族の在り方についても深く言及されています。これから長い人生を歩んでいくみなさんにとってどんな人生を歩んでいきたいか考えさせられる一冊です。

ぜひ読んでみてください。



教養教育部 講師 後藤 礼圭 先生より

『アントニー・スウェイト対訳詩選集』 アントニー・スウェイト著、山内久明、山内玲子訳、松柏社

【今後当館に所蔵予定です】

本書は、20 世紀後半の英詩を代表する詩人のひとりアンソニー・スウェイトの作品を、大江健三郎のノーベル賞受賞講演スピーチの英訳で知られる山内久明が訳した、美しい原文と翻訳を一度に味わえる詩集である。スウェイトが東京大学でも教鞭をとり日本文化にも造詣が深かった人物であるからか、あるいはテーマが小さな生きもの、人、自然や社会であるからか、どこか我々にも親しみやすい。

夏目漱石がイギリスでの暮らしに馴染めずいた留学時代をモチーフに劇的独白の手法をとっている Soseki(London: December 1901)から、幼い娘が初めて雪をみて発した二語に「変化と永遠」が融合し共存する自然の神秘を映した White Snow まで、様々な詩がその時々心に寄り添ってくれる。

卒業し新生活を送られる皆さんに、眠る前、なんだかうまくいかない時、ゆっくりしたい休日の昼下がり、そんなふとした時にパラパラとページをめくってスウェイトにより紡がれたことばをなぞってみて欲しい。



卒業生の皆様へ

図書館資料複写サービスのご案内

図書館では、卒後支援として卒業後の文献複写郵送サービス「図書館資料複写サービス」を行っています。就職先での研究、ケーススタディ等で文献が必要になったけれど図書館に来館して依頼する時間がない、事情があって来館が難しい……といった時に名寄市立大学図書館へメールや FAX、郵送で文献依頼を行えるサービスです(複写・送付は有料です)。詳細は、図書館 HP「利用案内」→「図書館資料複写サービス(卒業生向け)」をご覧ください。皆様の新たな場所での学びの支えに、是非活用くださいね!

こちらの QR コードから該当 Web ページにアクセス可能です!

